

令和5年度 第6回頸城区地域協議会次第

日時：令和5年9月27日（水）
午後6時30分～
場所：頸城コミュニティプラザ
2階 203会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 報 告 事 項

- (1) 新潟県南部産業団地の現状について
- (2) 上越市地区公共交通懇話会について

4 そ の 他

5 閉 会

新潟県南部産業団地の現状について（報告）

頸城区地域協議会資料
令和5年9月27日
上越市産業立地課
頸城区総合事務所

◆ 新規用地取得（1件）

○ 進出企業の概要

企業名：司企業株式会社
本社所在地：愛知県豊田市本町中根 98 番地
業務内容：道路貨物運送業
取得面積：5,617.59 m²（令和5年9月1日契約）
目的：事業用大型車両の車庫及び従業員駐車場として使用するもの

◆ 分譲実績（令和2年度～）

年度	企業名	分譲面積
令和2年度	中越運送(株)	13,223.15 m ²
	(株)ボルテックスセイグン	10,000.10 m ²
小計		23,223.25 m ²
令和3年度	北日本建材リース(株)	9,814.43 m ²
	東興産業(株)	8,190.35 m ²
	サンヴァーテックス(株)	5,240.83 m ²
	(株)タケショウ	13,223.18 m ²
	(株)クックライフ	2,081.90 m ²
小計		38,550.69 m ²
令和4年度	新潟太陽誘電(株)	47,000.12 m ²
	司企業(株)	9,276.88 m ²
	(株)オーガニックライフ	11,871.09 m ²
小計		68,148.09 m ²

◆ 位置図



◆ 参考

○ 新潟県南部産業団地の分譲状況（今回の新規用地取得含む）

工場用地面積	契約企業数	分譲済面積	分譲率	分譲可能面積
916,000.00 m ²	54 社	886,100.82 m ²	96.7%	29,899.18 m ²

第2次上越市総合公共交通計画の概要

1 計画策定の経過（平成30年3月～令和2年3月）

(1) 現状調査の実施（調査者数延べ15,081人）

- ① 公共交通に関するアンケート（H30年3月実施。対象：市内在住の16歳以上6,228人。回収数：2,745）
 - ・市民の87.8%が公共交通を「重要」と認識。
 - ・70歳以上の高齢者の外出手段は、自家用車が81.9%、公共交通（鉄道、バス、タクシー）が10.9%。
 - ・免許のない人の外出手段は、家族等による送迎と公共交通がほぼ半々。
 - ・便数、ダイヤ、乗換負担、ルート、運賃等の満足度が低い一方、バス停までの距離は満足度が高い。
- ② 路線バス乗降調査（H30年6月～7月実施。対象：近年調査を行っていない43路線。乗降者数：5,932人）
 - ・バスの利用者は、学生（小中高大）が41.4%で最多、次いで一般が27.6%、高齢者は26.4%。
- ③ 高校生アンケート（H30年12月実施。対象：上越・妙高市内の高校に通学する1・2年生。回収数：3,557）
 - ・公共交通により通学する生徒（冬期）は、鉄道は1,732人（48.7%）、バスは379人（10.7%）。
- ④ 聞き取り調査（町内会長、民生委員、すこやかサロン参加者、地域住民（戸別訪問）、免許返納者や各種団体等から移動実態等について聞き取り。延べ2,847人）
 - ・運転免許を持たない人は、家族や近所の人による送迎により買い物や通院の用を足しているため、バスを利用しないという意見が多かった。一方、バス停までの距離、ダイヤ、ルート等の意見・要望が寄せられた。

(2) 地域公共交通活性化協議会において計画策定について審議（H30年6月～R2年3月に計9回開催）

(3) 13区の地区公共交通懇話会において各区のバス路線の再編案等を審議（H30年度・R1年度に計42回実施）

(4) 地域への説明等

- ① 13区と金谷区の地域協議会への報告（H30年度・R1年度に計33回実施）
- ② 住民・利用者等の意見聴取（町内会長（延べ343人）や住民懇談会（延べ950人）、学校等に説明・意見交換。また、路線バスの乗降調査や戸別訪問等により利用者から意見聞き取り）
- (5) 市議会への説明（H30年7月～R1年12月に計5回、交通政策調査対策特別委員会へ説明）
- (6) パブリックコメント（R2年1月～2月実施）

2 計画の背景と目的

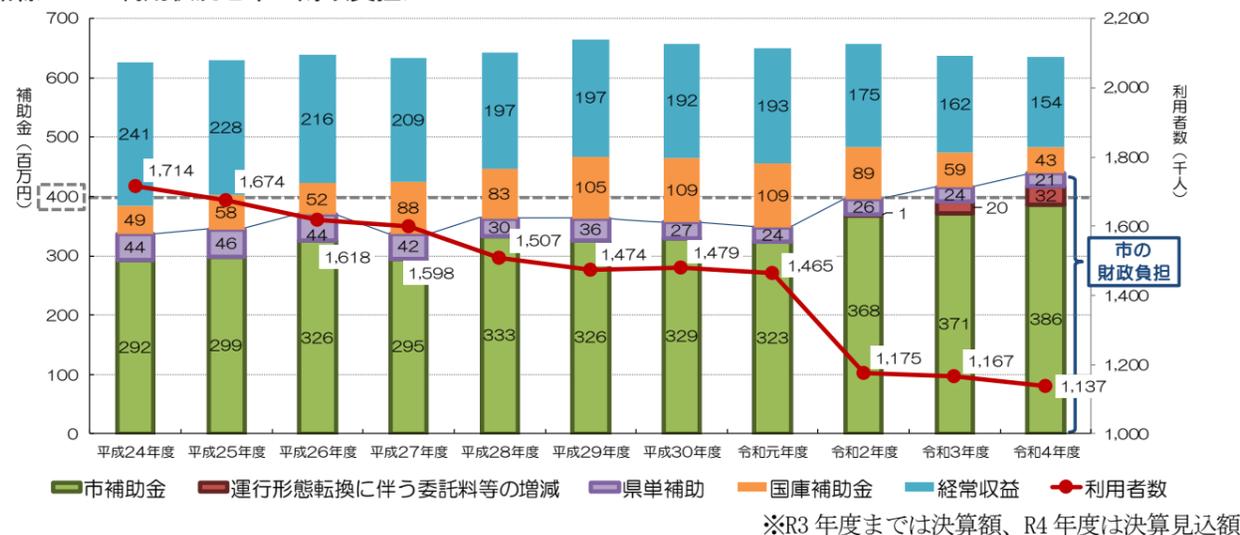
高齢化の進行や運転免許証の自主返納者の増加に伴い、これまで以上にきめ細やかで利便性の高い移動手段としての役割が公共交通に求められている。

一方、自家用車中心の生活様式や少子化の進行などの要因から、バス利用者数は減少傾向にあり、今後、市の財政負担が更に大きく増加し、公共交通ネットワークの維持そのものに大きな影響を及ぼすことが懸念される。

このような状況の下、市民が利用しやすく、かつ、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通活性化再生法に基づいて令和2年3月に計画を策定した。

計画の期間は、令和2年度から令和9年度までの8年間としている。

<路線バスの利用状況と市の財政負担>



3 計画の基本方針及び目標

基本方針1 公共交通により市民の日常生活の移動手段を確保する。

具体的な目標

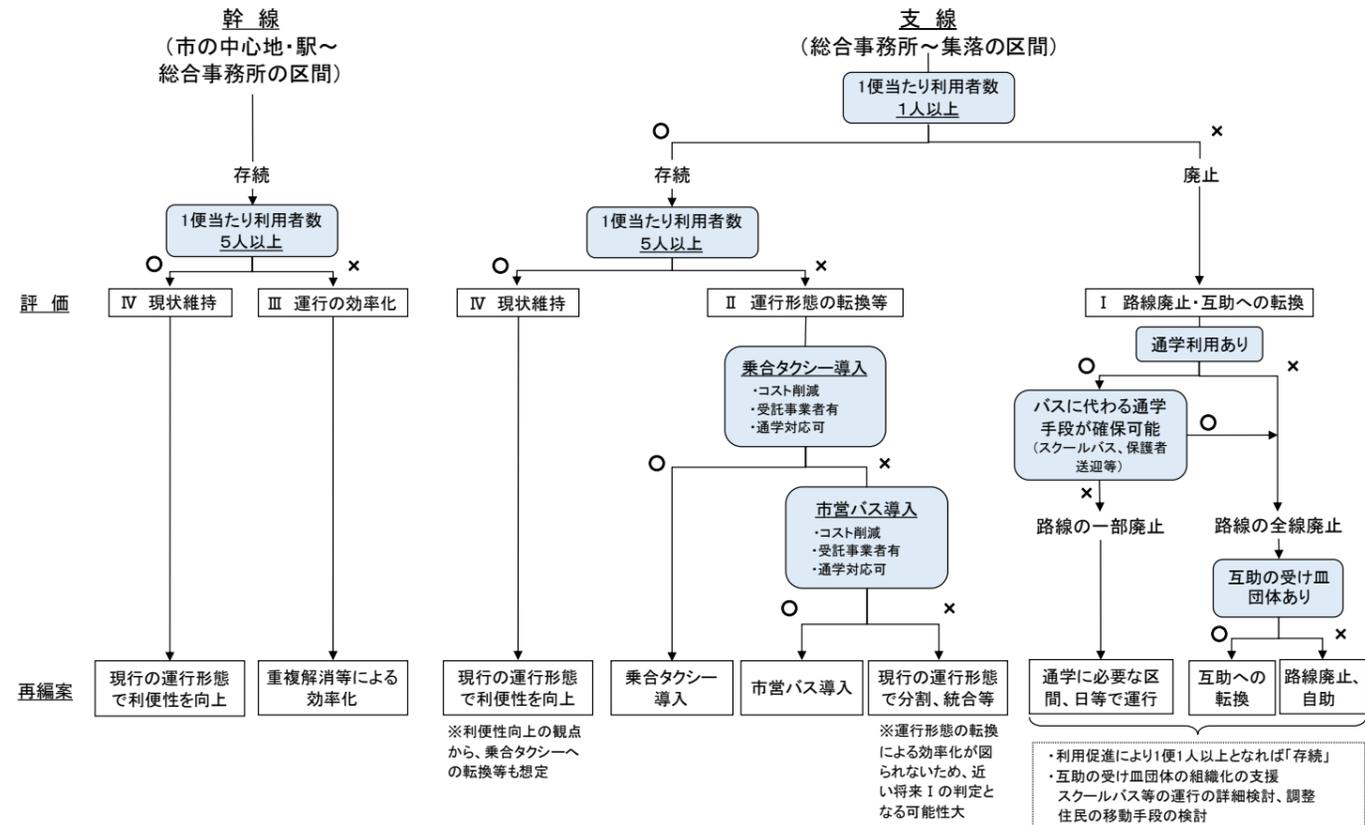
- ① バス及び市営バスの利用者数の減少率を人口減少率以内に抑制する。
- ② 「市民の声アンケート」において、「バスや鉄道などの公共交通の便がよい」と感じる市民の割合及び、「公共交通の利便性向上」に係る市の取組に対する満足度について、平成30年の調査より向上する。

基本方針2 将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークを構築する。

具体的な目標 ① 計画終了時におけるバスに対する市の財政負担を4億円以内に抑制する。

4 バス路線の評価と方向性の検討

バス路線について、1便当たりの利用者数（年間利用者数÷年間計画運行回数）を基準に毎年度評価を行う。



※年間の利用者数は事業者（市営バスは市）による実績値とし、年間計画運行回数には、デマンド運行により実際運行しなかった便も含めることとする。

※廃止評価となった路線の猶予期間における改善策として減便を行う場合、年間計画運行回数は、減便前の数値を用いる。

※コロナ禍に伴う利用者の減については、今後、一定期間における回復動向を調べた上で再編に当たる。

5 後期再編計画の策定について

計画に記載した各地域における再編内容は、計画期間のうち、前期4年間において実施することを基本としている。令和5年度で前期4年間が終了するため、令和5年度末までに後期再編計画（令和6～9年度）を策定する。

<策定のスケジュール（予定）>

時期	主な内容
R5年 4月～11月	・地区公共交通懇話会、地域公共交通活性化協議会において審議 ・乗降調査、交通事業者と協議 ・利用者、地域住民から聞き取り、意見交換 (※調査や協議の時期・方法等は地域ごとに異なる。)
12月	・地域公共交通活性化協議会において計画案の承認
R6年 1月	・パブリックコメント
3月	・計画の策定

【注】本資料は協議中のものであり、確定したものではありません。

⑧頸城区

■人口(令和5年3月末現在)

総人口	9,198人
15歳未満	999人 10.9%
65歳以上	2,677人 29.1%
75歳以上	1,314人 14.3%

■地域の送迎サービス(令和5年度時点)

No.	名称	運行主体	区間	運行日
1	スクールバス	市	南川小学校区、大瀧小学校区	平日
2	通院送迎	高野循環器内科クリニック	頸城区周辺～病院	火曜日・木曜日
3	通院送迎	山田クリニック(内科等)	頸城区周辺～病院	平日、土曜日の午前中
4	サロン送迎	くびき振興会	頸城区～ユートピアくびき希望館	月4回～5回
5	介護予防教室	くびき振興会	頸城区～ユートピアくびき希望館	月4回～5回
6	出前サロン送迎	くびき振興会	玄増・大瀧生田・坂田・西福島二区・下吉地区周辺	月1回～年2回

■バス路線の収支と評価結果

No.	路線	区分	収支等の状況(R4決算見込み)							評価結果		
			経常費用(千円)	経常収益(千円)	経常欠損(千円)	収支率	国県補助(千円)	市補助・負担(千円)	年間利用者数(人)		1便当たり利用者数(人)	平均乗車密度
1	南川線	幹線	22,415	8,731	13,684	39.0%	2,547	8,836	57,115(59,073)	9.6(9.6)	1.4-2.2	IV現状維持
2	黒井駅線	支線	8,903	2,493	6,410	28.0%	0	6,409	32,366(35,928)	19.1(21.2)	1.3	IV現状維持
3	犀潟駅線	支線	7,547	1,817	5,730	24.1%	1,159	4,571	25,340(47,543)	7.5(14.0)	1.0	IV現状維持
4	柳町線	支線	4,247	1,306	2,941	30.8%	672	2,268	22,345(23,546)	15.4(16.2)	1.8	IV現状維持
5	くびき駅線	支線	8,568	740	7,828	8.6%	0	7,828	9,108(16,266)	5.3(9.6)	0.5	IV現状維持
6	市営バス(大池線)	支線	35,497	9	35,488	0.0%	0	10,319	10,111(10,409)	6.9(7.2)	-	IV現状維持
合計			87,177	15,096	72,081	17.3%	4,378	40,231	178,942(192,765)	-	-	

※年間利用者数及び1便当たり利用者数における()内の数値は、平成30年度の利用者数

■利用の実態(乗降調査)

No.	路線	【参考】1日当たりの運行便数(便)		1日当たりの利用便数(便)		1日当たりの利用人数(人)				利用の特徴
		平日	土休日	平日	土休日	平日	一般	学生	土休日	
1	南川線	21	10	18	8	220	-	-	21	小中学生・高校生の通学利用、高齢者の買物・通院利用など。
2	黒井駅線	7	0	4	0	78	2	76	0	小中学生の通学利用が主。
3	犀潟駅線	14	0	9	0	56	1	55	0	
4	柳町線	6	0	4	0	48	0	48	0	
5	くびき駅線	7	0	4	0	31	1	30	0	
6	市営バス(大池線)	6	0	5	0	69	0	69	0	

※令和5年1月調査から ※南川線の1日当たりの利用者数は、便ごとの最大利用者数の合計 ※一般/学生の区分は乗降場所等からの推計。ただし、南川線については、停留所ごとに乗降人数を集計していないため人数を掲載していない。

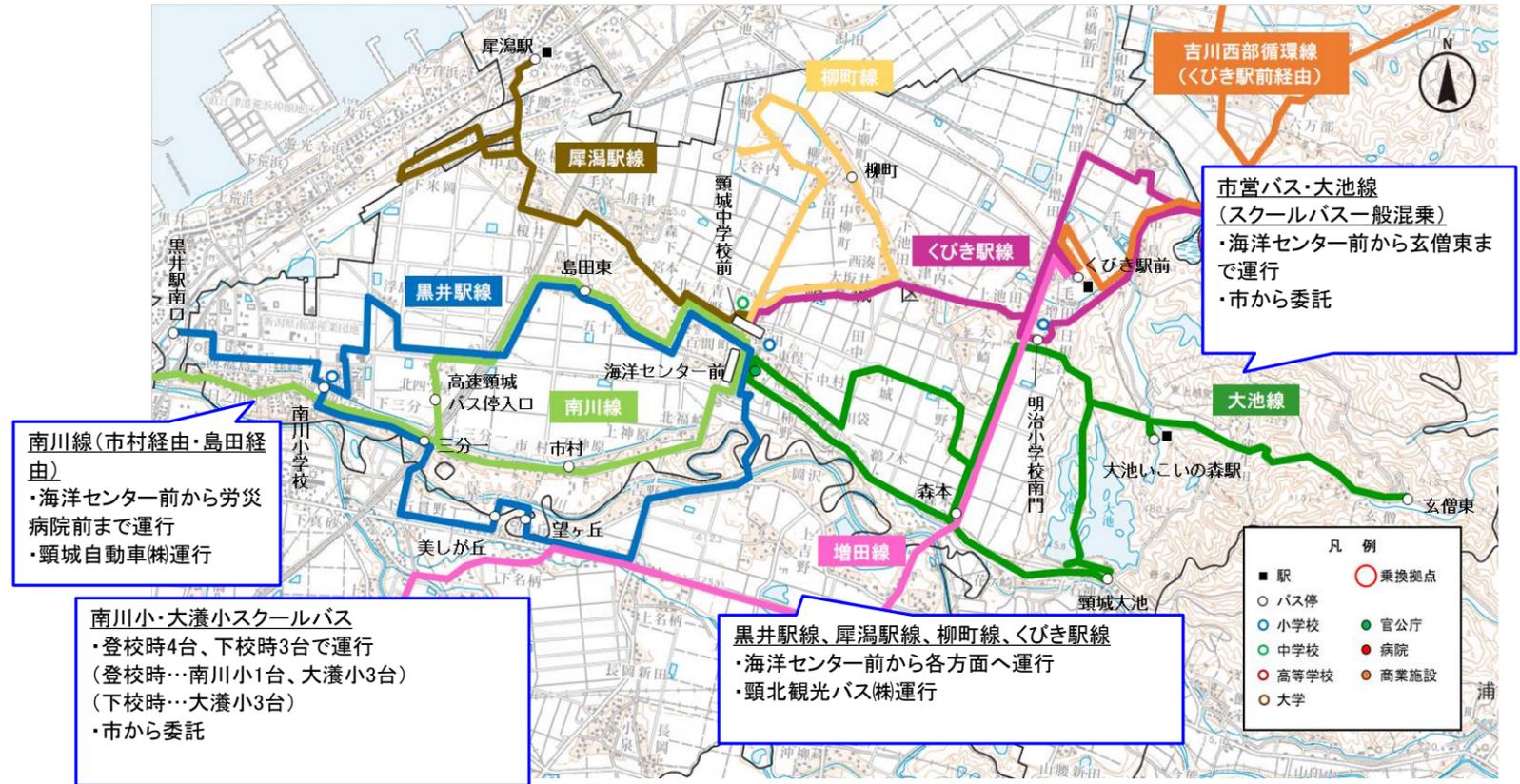
■再編の方向性

No.	路線名	区分	主な再編時期	再編の方向性
1	南川線	幹線	-	・現状維持
2	黒井駅線	支線	-	・スクールバスと予約型コミュニティバスへの再編を検討
3	犀潟駅線	支線		
4	柳町線	支線		
5	くびき駅線	支線		
6	市営バス(大池線)	支線		

※増田線(幹線、くびき野バス運行)は現状維持

※吉川西部循環線(支線、頸北観光バス運行)は吉川区予約型コミュニティバスへの転換を検討

■再編前



■再編後



※【地図の出典】国土地理院発行5万分の1地形図を加工して作成